

教育・文化

子どもたちを守るために非構造部材の耐震化を拡充すべき

幸田昌之議員(公明) ①学校体育館の非構造部材の耐震化工事の状況は。

②学校施設の非構造部材のさらなる耐震化が必要だが見解は。教育長 ①本年度、工事を予定していた小学校7校のうち、強化ガラスの1校を除く6校で、体育館の窓ガラスに飛散防止フィルムを張る準備を進めている。

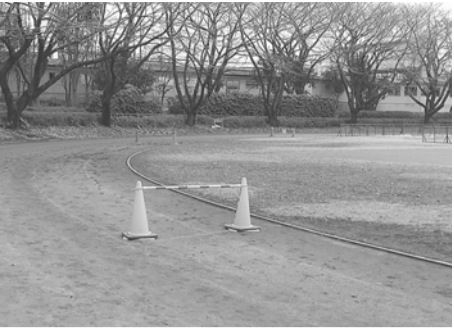
②災害時に避難所となる体育館を優先しており、それ以外の耐震化は、今後の検討課題である。窓ガラスの飛散防止フィルム対策は被害の影響度等から優先順位を見きわめて検討する。

中央公園のグラウンドについて

小林洋子議員(フオ) ①グラウンドのトラック1・2コースの使用制限を開始した理由は。②トラックやグラウンドの整備内容とその頻度は。

教育長 ①コースの傷みが激しく、陸上競技の大会等の使用時

中央公園グラウンドのトラック



に支障を来すため制限している。

②年1回、土のかき起こしや補充、ローラー転圧等の大規模整備を行い、年2回、くぼみ部分へ土を補充し整地するなどの定期メンテナンスを行っている。

教育に関する市民ニーズをどのように生かしていくか

小林洋子議員(フオ) ①教育に関するアンケート調査で見られた小学校6年生の中学校生活に対する不安感への対応は。

②保護者が最も求めている学向上策にどう応えていくか。

教育長 ①部活動体験等の直接的な交流のほか、小学校のテスト問題等で中学校とのギャップを少なくする工夫をしている。

②小・中連携教育の中で行う共通プログラムのほか、中学校区ごとに内容を定めて学力向上に取り組んでいる。また、学校支援ボランティアなど人的な支援を初め、各校の課題に応じた校内研究等を実施している。

市の文化財について

小林洋子議員(フオ) ①文化財に対する予算と主な内容は。②文化財のPRをどのように行っているか。

教育長 ①今年度予算は1千9百16万7千円であり、主な内容は文化財保護審議会の委員報酬、文化財公開への謝礼、民具収蔵庫の管理費用、研究会や保存会に対する補助金等である。

②書籍の刊行、販売や夏休み小・中学生向けの体験講座、



子ども文化財体験講座でナイフ形石器をつくる小・中学生

学芸員による出前講座、市報等での情報発信などを通じて周知を行っている。

読書の力で子どもたちの心を育もう

山岸真知子議員(公明) ①学校図書館の開館状況と学校図書館協力員の配置状況は。

②子どもたちの読書量の分析と対応は。

教育長 ①授業の調べ学習で利用するほか小学校で中休みと昼休みに、中学校で昼休みと放課後に開館しており、週3日、学校図書館協力員を配置している。

②平成23年度の教育に関するアンケートの結果からも読書離れを認識しており、昨年度から小・中連携教育の共通プログラムとして読書マラソンを実施するなど読書に取り組んでいる。

いじめ問題と学級経営、学校経営、保護者対応等について

坂井やすのり議員(みな) 学級が混乱し、学習環境が乱れるなどの事例に対して、教育委員会

はどのように対応しているか。教育長 校長から学級の状況等を詳しく聞き取った後、指導主事が訪問して、学級の状況や担

任の指導について確認するとともに、担任の学級経営や学習指導、保護者への説明等について指導、助言を行っている。保護者会で出された意見も確認しながら、その後も校長と学級の状況について連絡を取り合い、引き続き指導、助言を行っている。

子どものためのいじめ対策について

平野ひろみ議員(生ネ) ①市小・中学校のいじめの件数は。

②いじめ防止の取り組みは。教育長 ①都の調査によると、平成25年4月から9月までのいじめの認知件数は小学校170件、中学校95件で、合計265件である。

②教育活動全体を通じていじめは人権侵害であり、許されない行為であると指導し、家庭等とも連携していじめの未然防止

道路・交通

たかの台周辺地域の諸課題の解決に向けて

山岸真知子議員(公明) ①じバスのたかの台までの延伸についてこれまでの検討状況は。

②たかの台本通りを逆走して

に努めている。また、定期的にアンケート調査を実施していじめの早期発見等に努め、合わせて児童・生徒にいじめをみずからの問題として考えさせている。

特別支援教育の一層の充実のために

橋本久雄議員(虹ひ) ①特別支援教室モデル事業の実績は。

②特別支援教育にかかわるボランティアの実績は。教育長 ①平成24年度に市内5校にある情緒障害通級指導学級

全てで通級指導学級担任による近隣校支援を実施し、児童・生徒の観察や指導、担任への助言などの支援を行った。

②平成24年度には小・中学校合わせて13校で活動実績があり、日常生活や学習活動における介助や指導などを行った。

たかの台周辺地域の諸課題の解決に向けて

市長 ①府中街道、たかの街道の渋滞により定時性の確保が困難であること、道路幅員や滞留場所の状況から運行に支障を来すことなどの課題があるため具体的な検討はされていない。

②注意喚起看板を設置し、進入防止を図っている。

自転車安全利用条例を策定し自転車安全利用日本一を目指す

山岸真知子議員(公明) ①自転車事故の減少対策としての取り組みの検証は。

②小平市自転車安全利用条例の策定についての見解は。市長 ①市内の自転車事故は減少傾向にあり、特定の施策では

なく小平警察署を初め関係機関と連携し、さまざまな施策を実施した結果と認識している。

道路管理の優先順位を透明化すべきである

滝口幸一議員(フオ) ①道路管理にかかわる市民からの要望の過去5年間の実績は。

②どのような優先順位で整備しているか。市長 ①平成20年度が346件、21年度が216件、22年度が253件、23年度が179件、昨年度が136件である。主な内容は舗装の劣化に伴う道路整備や水たまり等の道路排水の改善に関するものである。

②市民からの情報も含め、舗装のひび割れや耐用年数等の状況をもとに決めている。

改正道路交通法の施行に向け自転車利用がしやすい環境整備を

岩本博子議員(生ネ) ①改正道路交通法の自転車にかかわる内容と利用者への影響は。

②自転車を利用しやすい環境づくりに向けた取り組みは。市長 ①道路右側の路側帯の通行が禁止され、ブレーキ不良の自転車に警察官は停止命令等ができることになる。交通管理者からは悪質な運転手への取り締まりを強化すると聞いている。

②安全で快適に車道を行き渡る環境を整備する必要があるため、連続性のある自転車ナビマークの設置に取り組んでいく。

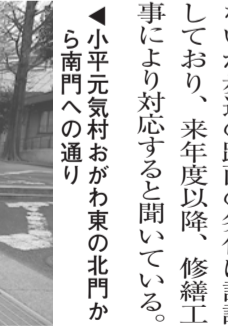
小平元気村おがわ東と秋山駅周辺の安全対策について

幸田昌之議員(公明) ①小平元気村おがわ東の北門から南門へは見通しが悪く、とても危険だが対策は。

②江戸街道の小平市側の歩道の改善を東村山市に要望するようお願いしたが、現在の状況は。市長 ①北門の出入り口に停止線と「止まれ」の文字を標示する等の対応をしており、道路反射鏡の設置も今後検討していく。

②計画的な道路整備の予定はないが歩道の路面の劣化は認識しており、来年度以降、修繕工事により対応すると聞いている。

小平元気村おがわ東の北門から南門への通り



環境

下水道

小川西町、小川東町の野良猫対策について

佐野郁夫議員(政和) ①野良猫の苦情に対する市の対応は。②野良猫への無責任な餌やり

の防止や飼い主の責任とルールを明確にする条例制定の考えは。市長 ①ふん尿対策として猫を寄せつけさせないアドバイスをしたり、不適切な餌やりをして

いる人には事情を聞き、適切な餌やりなどをお願いしている。

②適正な飼育方法を広く普及させることが猫による被害を未然に防止できる方策と考えており、条例の制定ではなく、普及啓発に粘り強く取り組んでいく。

みんなで作るいつもきれいな小平まちづくりのために

吉池たかゆき議員(みな) ①清掃活動等のボランティア活動により多くの市民に参加してもらうための広報は。

②ごみを捨てさせないための予防になる施策は。市長 ①市報と市ホームページで行っているが、ソーシャルメディアの活用も検討していく。

②市民や自治会等の協力により毎月実施している喫煙マナーアップキャンペーンの充実のほか、ポイ捨て禁止看板等の配布や市報等を通じた啓発を引き続き実施し、ごみの発生抑制と環境美化の推進に努める。

花小金井駅前で行われた喫煙マナーアップキャンペーン

